



イマジン
ロータリー

第
2530
地区

福島西ロータリークラブ会報

会長 高 梨 哲 男
幹事 高 橋 智 弘

奉仕プロジェクト
委員会委員長 渡 辺 敬 藏

会報写真担当 梅 津 一 匡

令和5年2月13日(月) 第23回 通算第1651回例会

・例会日/月曜日12:30 ・例会場/ウェディング エルティ ☎(024)535-6188

事務所/福島市万世町2-5 福島銀行本店9F ☎(024)536-1010・FAX(024)536-1011 Eメール/f-rotary@guitar.ocn.ne.jp

第23回例会 点鐘12:30

- ◇開会点鐘 高 梨 哲 男会長
- ◇ロータリーソング「我らの生業」
ソングリーダー 宮 崎 秀 剛 副会長
- ◇お客様並びにビジター紹介
- ◇会長あいさつ 高 梨 哲 男会長



過日2月10日、二本松市において第6回会長幹事会が開催されました。

あの大雪の中、元来なまけもの私は欠席者がいるだろうと思いましたが、なんと私達が一番最後でチョット驚きました。

各クラブの会長幹事はもちろんですが、ガバナー、ガバナーエレクト、来年度の地区大会実行委員長も出席し、そうそうたるメンバーで肅々と進行しました。

各メンバーの挨拶と開催事業の実施報告と今後の開催事業概略を確認しました。今年度の当クラブの主催事業はもうありませんが、各開催事業への出席義務と相変わらず寄附金と会員増を強いられました。

先日も申し上げましたが、今月のロータリーテーマは平和構築と紛争予防月間です。他の月と異なり、このテーマは世界の課題であり、今日の前にある現実に対する、大きなテーマなのではないかと思うのですが、各クラブの会長、ガバナー、エレクト、補佐からもこの状況における立ち位置も総論も聞かれませんでした。

対岸の火事のごとく、私達とはまるで関係なく、ポピュリズムとはおおよそかけ離れたこの空間で、奉仕という言葉が一人歩きしているようで、非常に残念というよりRCは金とたしかではない活動をしているだけで、テーマはあくまでも言葉であって、現実的事柄は別次元で語ればよいようです。

○例会変更のお知らせ

・当クラブ次週20日(月)の例会は、祝日の週の為休会となっております。

○その他のお知らせ

・2月25日(土)県北第一分区インターシティミーティングが二本松御苑にて開催されます。当クラブより高梨会長、高橋幹事、渡辺敬藏会長エレクト、寺島英樹副会長、久米允彦会員、齋藤武二会員が出席い

たします。

・2月ロータリーレートは1ドル130円となっておりますのでお知らせいたします。

委員会報告

◇プログラム・出席・スマイリングBOX小委員会 渡 辺 敬 藏 会員

○久米允彦会員＝拙いお話にお付き合いください。

○宮崎秀剛会員＝本日もよろしくお願ひします。

—————会員スピーチによせて—————

○高梨哲男会長 ○朝倉久仁男会員 ○大平謹一郎会員

○黒澤信之会員 ○齋藤武二会員 ○佐藤卓立会員

○佐藤宗弘会員 ○高橋智弘幹事 ○野尻榮一会員

本日のスマイリングBOX集計11件 22,000円
ご協力頂きました皆さん、ありがとうございました。

◇本日のプログラム

○会員スピーチ「平和構築と紛争予防月間」にちなんで
久 米 允 彦 会 員



今日は国際奉仕委員長の代役としてスピーチさせて頂きます。私が国際奉仕委員会に関わったのは今から14年前に地区の委員としてお手伝いした時からです。就任3年目に「国際親善学生」小委員長を仰せつかり

ました。その時は忘れもしない東日本大震災発災の年で発災直後の日時に、親善学生の面接試験が予定されていました。とりわけ印象的だったのが「いわき市」出身の女子学生さんで、原発事故からの避難で宇都宮市方面に避難していました。親善学生採用の面接時間に遅れること1時間余りで漸く面接会場にお出で頂きました。聞くところによれば、避難騒ぎで大好きなおばあちゃんを前日に亡くされ、通夜もそこそこに面接にお越し頂いたのです。担当なさったパストガバナー・現役ガバナー、国際奉仕委員長も震災という特段の事情を慮って、出席遅刻を詰問をせず、かえって遅刻したことを慰めてくださいました。面接を始めて彼女はひたすら遅刻を詫び、愛する人を亡くしたことを言い訳もせず、謝り続けたのです。この姿勢に面接をする我々の方がほだされ、そのことは不問とすることにしました。しかしながら彼女には大きなハードルがありました。それは語学力です。ご存知の方もおいでになるかと思ひ

ますが、親善学生の試験では派遣されるお国の国語がそれなりに求められます。所謂、「トーフル」というテストです。ロータリーでは重要な試験で、記憶が定かではありませんが710点以上の成績を取れないと派遣選考には合格できないのが原則ですが、彼女は残念ながらその域には若干達していなかったのです。そのことを質したところ、予期していたのか、「そのことは十分承知の上でここに臨みました」と涙ながらにお話しました。我々面接担当者も迷いました、彼女の情熱を遅刻にも拘らずお出で頂いたことで感じ、実は面接で不採用になるであろうと覚悟して臨んだことに感じ入り、ロータリー首脳各位に相談した結果、「もう一度トーフル試験を受験し、所定の成績に達するよう努力してみてください。」と申し上げました。彼女は何度も礼を述べ「再試験まで頑張ります、皆様のご期待に沿うよう努力します。」と誓って退出しました。その後の結果は見事合格です。過去に何人かの学生諸君を面接しましたが、彼女の気概、覚悟は非常に印象的でした。この時私と一緒に地区委員をなさったのが、石黒パストガバナーです。

私の国際奉仕委員としての思い出はこの程度ですが、この2月にお話するのが非常に皮肉なことと思っています。この月間の1年前にロシアによるウクライナ侵攻が始まり、世界中がおかしくなりました。国連の常任理事国自身が国連憲章を反故にし、拒否権を強硬に行使して、国連は機能マヒとなりました。一般的に「正義」とか「防衛」とかを標榜するのは私は好きになれません。しかしながらロシアの暴挙は、深刻に捉えています。我が日本の地政的位置は、捉えようによっては非常に危うい位置にいると思います。私に軍事的コメントを希望する方もおいでになりますが、私は戦争の話は好きではありませんし、自分が戦争に征くということもしたくはありません。正義とか国防というものは国家が上手く利用して紛争を起こし、結果は不幸をもたらしたことは歴史が如実に語っています。ヨーロッパ諸国、とりわけウクライナとロシアは、我々日本人が考えるような単純な地政学では論じることができないのです。「平和の構築」は色々な力関係が錯綜していますから、おいそれと手を出すことには勇気がいりますし、難しいことと思っています。

ご清聴ありがとうございました。

◇閉会点鐘 高梨哲男会長
 ※会報カメラ担当 梅津一匡会員

県北第一分区 インターシティミーティング

令和5年2月25日(土)

二本松御苑(ホスト：二本松あだたらRC)

高梨哲男会長、高橋智弘幹事、寺島英樹副会長、久米允彦会員の4名が参加しました。



●他RC例会場・例会日

クラブ名	曜日	例会場名	クラブ名	曜日	例会場名
福島RC	木曜日	クーラクーリアンテサンパレス	飯坂RC	木曜日	吉川屋
福島南RC	水曜日	クーラクーリアンテサンパレス	福島北RC	火曜日	クーラクーリアンテサンパレス
福島中央RC	水曜日	クーラクーリアンテサンパレス	福島東RC	金曜日	クーラクーリアンテサンパレス
福島21RC	木曜日 18:30~	クーラクーリアンテサンパレス	福島しんたつRC	月曜日 18:30~	福島県青少年会館